

ケミカルハザード対応クリーンルーム 「T-Hazard Barrier」



ハザード対応機能（漏洩防止）とクリーンルーム機能（侵入防止）を併せ持つバリア型クリーンルーム

お客様のメリット

- ハザード物質の確実な封じ込めにより安全性が向上します。
- 汚染エリア（管理区域）の最小化によりスペースを有効利用できます。
- リニューアル時、ハザード対応型のクリーンルームとして容易に導入できます。

技術の特徴

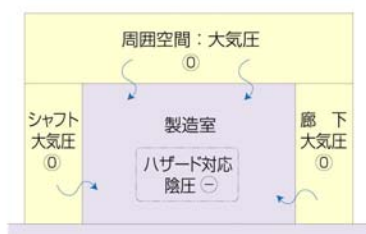
- ・壁・天井を中空パネルで構成し、内部の空気すべてを連通させます。
- ・中空パネル部を、取扱い室や隣室よりも常時陰圧に維持します。
- ・陰圧に維持することにより、ケミカル物質の漏洩を中空パネル部で防止します。
- ・陰圧に維持することにより、外部からの汚染物質の流入を中空パネル部で防止でき、クリーンルームとしての機能を併せ持てます。
- ・中空部で漏洩を防止できるため、天井裏や隣室を陰圧に維持する必要がありません。

システム構築の背景

健康者には有害となる抗生物質や制癌剤（＝ケミカル物質）などを取扱う施設では、作業中に飛散したケミカル物質を室内に封じ込めるため、取扱い室を隣室よりも陰圧にして同物質の漏洩を防止することが必要です。
しかしながら、医薬品などの製造はクリーンルームで行われるのが一般的であり、外部からの汚染物質の侵入を防ぐため、製造室（＝取扱い室）は隣室よりも陽圧に維持しなければなりません。

相反する2つの要求

ハザード対応機能
【室を陰圧にする必要】
(ハザード物質の漏洩を防止)

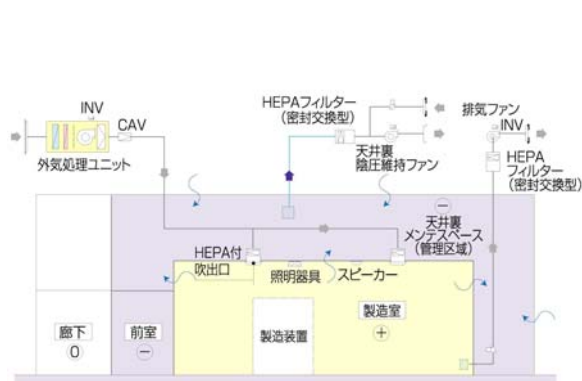


クリーンルーム機能
【室を陽圧にする必要】
(汚染物質の侵入を防止)



実績・事例

従来方式（天井裏・隣室も管理区域）



T-Hazard Barrier

